

秋は鳥たちのこんなところに注目しよう！ その1

「セキレイのねぐらさがし」

ハクセキレイという鳥を知っていますか？

白と黒の2色で長い尾羽（おばね）をたてにふりながら歩く、かわいい小鳥です。

子育ての時期には、巣や巣の近くで寝ていますが、秋から冬にかけてはみんなが一つの場所に集まって寝ます。その数は数十羽から数百羽。

長池公園でみかけるハクセキレイたちが、いったいどこで寝ているのか探してみましょ。

ポイント① ねぐらさがしは夕方から日が暮れる前まで、かならずおうちの人かお友達と一緒にこないます。

ポイント② 明るいうちに、駅前のビルや、大通りに面した夜でも明るいお店などのまわりを調べます。大きな街路樹（がいろじゅ）があればその木の下が、鳥のフンで白くなっているか、羽が落ちていないか見ておきます。

ポイント③ 少し暗くなってくると、上のほうから小鳥の声が聞こえてきます。声のするほうにそっと近づいてみましょう。ハクセキレイ（ムクドリやスズメのこともある）のすがたが見えるところまで移動し、じっとしずかにして待ちます。

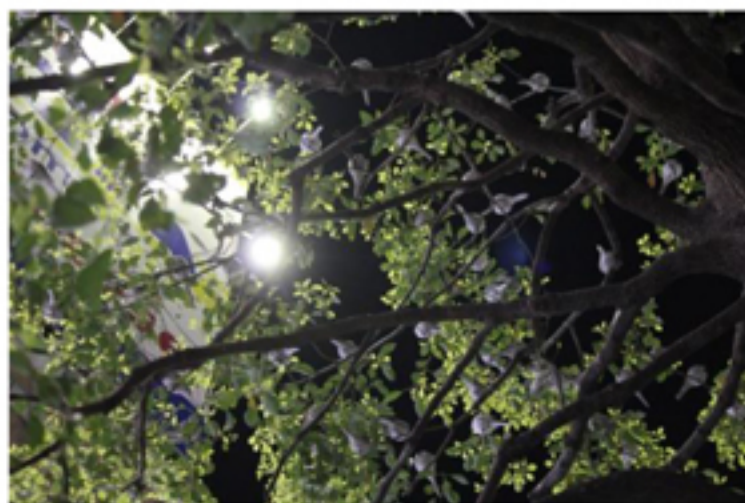
ポイント④ ねぐらを見つけることができれば、ねぐらに帰ってきたセキレイをしずかに観察します。しばらくはあたりを飛び回っていますが、だんだんおちついてねむりはじめます。鳴き声も聞こえなくなってくるでしょう。

ポイント⑤ 何羽いるか、できれば数えてみましょう。また、セキレイの行動や時間をメモしておくといいですよ。木のえだで寝ているか、看板やたてもものの上で寝ているかもよく見ておきましょう。

【参考】これまでにみつけたねぐらの場所

- 南大沢駅前パオレビル周辺の屋上とイチョウ並木
- 多摩ニュータウン通り沿い(松木)ローソン前イチョウ並木、出光石油前イチョウ並木、マルカワ看板
- 八王子駅北口くまざわ書店前のクスノキとイチョウ並木

これらのほかにも、聖蹟桜ヶ丘駅周辺、橋本駅周辺、大栗川にかかる橋の下など。



秋は鳥たちのこんなところに注目しよう！ その2

「モズのはやにえさがし」

モズという鳥を知っていますか？

えだの先などめだつところに止まり、“キチキチキチ・・キュンツキュンツ”と大きな声で鳴く小鳥です。子育ての時期には、夫婦で生活していますが、秋から冬まではたった一羽で広いなわばりを持ちます。なわばりの中で、虫やトカゲ、ネズミなどの小動物を食糧（しょくりょう）にしてすごすのです。

つかまえたえものは、食べるだけではなく、なぜかとがったえだの先などに刺しておくことがあります。

「モズのはやにえ」とよばれる習性（しゅうせい）です。なぜ、はやにえを作るかはわかっていません。

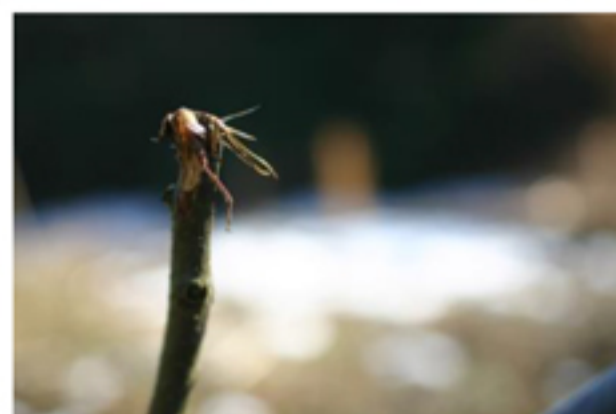
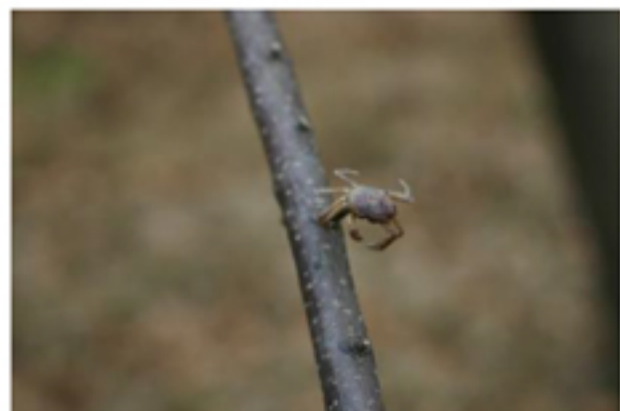
長池公園にも、モズがすんでいるはずですから、ぜひ「モズのはやにえ」を探してみましよう。

ポイント① はやにえさがしは広場や畑、草原のような見とおしのいい場所で行います。

ポイント② 杭（くい）の上やえだの先、有刺鉄線（ゆうしてっせん）、フェンスなどを、何かが刺さっていないか注意しながらよく見ていきます。

ポイント③ みつけることができたなら、刺さっていた生き物の名前と数を記録しましょう。

ポイント④ 近くにモズがいるかもしれないので、探してみましよう。



秋は鳥たちのこんなところに注目しよう！ その3

「ゆく鳥・くる鳥ウォッチング」

秋の空ってとてもきれいですよね。しばらくぼーっと眺めていると、鳥が飛んでいきます。

朝だったら、これからえさを探しに出かけて行くところでしょう。

昼だったら、風に乗っているだけかもしれません。夕方だったらねぐらに帰っていくのかもしれませんが。

高い空を飛んでいく鳥は、ひょっとすると、わたり鳥という可能性（かのうせい）もありますね。

どこから来てどこへ飛んでいくのか、観察（かんさつ）すると、鳥のくらしがもっとわかるかも・・・

ポイント① 見とおしの良い広場などで座ったり寝ころがって空を見上げます。

ポイント② 30分くらいの間に空を飛んでいく鳥を観察します。

ポイント③ なるべく、群れていたか、一羽だったかを記録しましょう。

ポイント④ どの方角（方向）から飛んできて、どの方角（方向）に飛び去ったか必ず記録します。

ポイント⑤ ほかに気が付いたことがあれば、なんでもメモしておきましょう。

ポイント⑥ それぞれ、これからどこへ行くところだったのかを推理（すいり）してみましょう。

